

(工種)
上層

(特性)
下がり

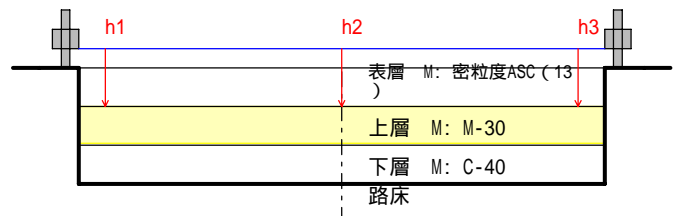
測定結果一覧表

測定者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号		実測値 A	設計値 B	設計値との差	規 格 値	自主管理値	摘 要
	BP	h1	156	150	6			
		h2	117	112	5			
		h3	155	150	5			
	BP+1.73 6	h1	152	150	2			
		h2	113	112	1			
		h3	154	150	4			
	BP+6.00 0	h1	154	150	4			
		h2	112	112	0			
		h3	151	150	1			
	BP+12.0 0	h1	151	150	1			
		h2	113	112	1			
		h3	153	150	3			
	BP+17.0 0	h1	150	150	0			
		h2	114	112	2			
		h3	152	150	2			
	NO.1	h1	154	150	4			
		h2	114	112	2			
		h3	152	150	2			
	NO.1+3. 000	h1	150	150	0			
		h2	112	112	0			
		h3	150	150	0			

1. 記事



記事欄には手直しの処置等を記入する

(工種)
上層

(特性)
下がり

測定結果一覧表

測定者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号		実測値 A	設計値 B	設計値との差 C = A - B	規 格 値	自主管理値	摘 要
	BP	h1	156	150	6			
		h2	117	112	5			
		h3	155	150	5			
	BP+1.73 6	h1	152	150	2			
		h2	113	112	1			
		h3	154	150	4			
	BP+6.00 0	h1	154	150	4			
		h2	112	112	0			
		h3	151	150	1			
	BP+12.0 0	h1	151	150	1			
		h2	113	112	1			
		h3	153	150	3			
	BP+17.0 0	h1	150	150	0			
		h2	114	112	2			
		h3	152	150	2			
	NO.1	h1	154	150	4			
		h2	114	112	2			
		h3	152	150	2			
	NO.1+3. 000	h1	150	150	0			
		h2	112	112	0			
		h3	150	150	0			
	NO.1+5. 500	h1	151	150	1			
		h2	113	112	1			
		h3	151	150	1			

1. 記事
記事欄には手直しの処置等を記入する。

工種

試験（測定）種目

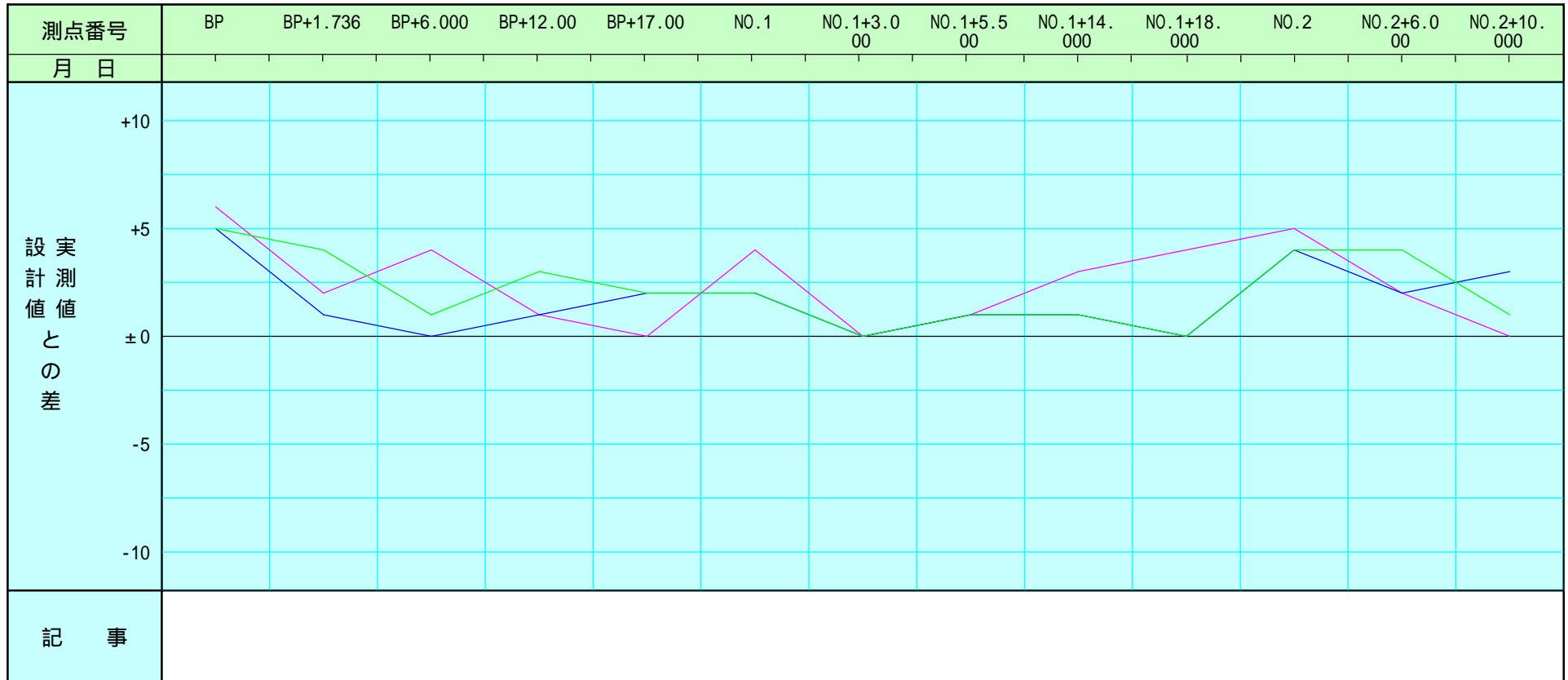
上層

下がり

出来形管理図表（X - 管理図）

測定者名 日本太郎

印



1. 基準線を適宜定める。
2. 設計値等との差の単位を定め目盛に数値をいれる。
3. 図表には、許容範囲（規格値）の線を朱色で記入する。
4. 起点から終点に向って順序よく記入する。
5. 記事欄には手直しの処置等を記入する。

h1

h2

h3

工種

試験(測定)種目

上層

下がり

h1

試験(測定)結果一覧表

試験(測定)者名 日本太郎

印

測定月日	測定番号	試験(測定)値	設計値	規格値	自主管理値	摘要
	BP	156	150			
	BP+1.736	152	150			
	BP+6.000	154	150			
	BP+12.00	151	150			
	BP+17.00	150	150			
	NO.1	154	150			
	NO.1+3.000	150	150			
	NO.1+5.500	151	150			
	NO.1+14.000	153	150			
	NO.1+18.000	154	150			
	NO.2	155	150			
	NO.2+6.000	152	150			
	NO.2+10.000	150	150			
	NO.2+15.000	150	150			
	NO.3	156	150			
	NO.3+5.000	155	150			
	NO.3+10.000	153	150			
	NO.3+14.000	156	150			
	NO.3+18.000	152	150			
	NO.4	156	150			
	平均値					

記事 手直しの処置等を記入する。

測定結果一覧表

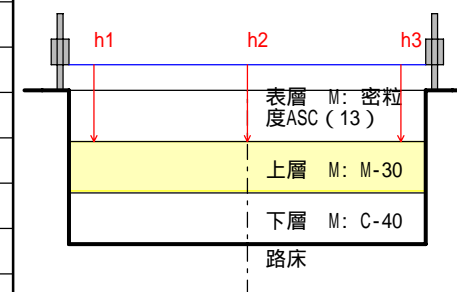
工種 上層

種別

測定者 日本太郎

印

測定項目	h1			h2			h3									略 図
	規格値															
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
BP	150	156	+6	112	117	+5	150	155	+5							
BP+1.736	150	152	+2	112	113	+1	150	154	+4							
BP+6.000	150	154	+4	112	112	±0	150	151	+1							
BP+12.00	150	151	+1	112	113	+1	150	153	+3							
BP+17.00	150	150	±0	112	114	+2	150	152	+2							
NO.1	150	154	+4	112	114	+2	150	152	+2							
NO.1+3.000	150	150	±0	112	112	±0	150	150	±0							
NO.1+5.500	150	151	+1	112	113	+1	150	151	+1							
NO.1+14.000	150	153	+3	112	113	+1	150	151	+1							
NO.1+18.000	150	154	+4	112	112	±0	150	150	±0							
測定項目																
規格値																
測点又は区別	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
BP																
BP+1.736																
BP+6.000																
BP+12.00																
BP+17.00																
NO.1																
NO.1+3.000																
NO.1+5.500																
NO.1+14.000																
NO.1+18.000																



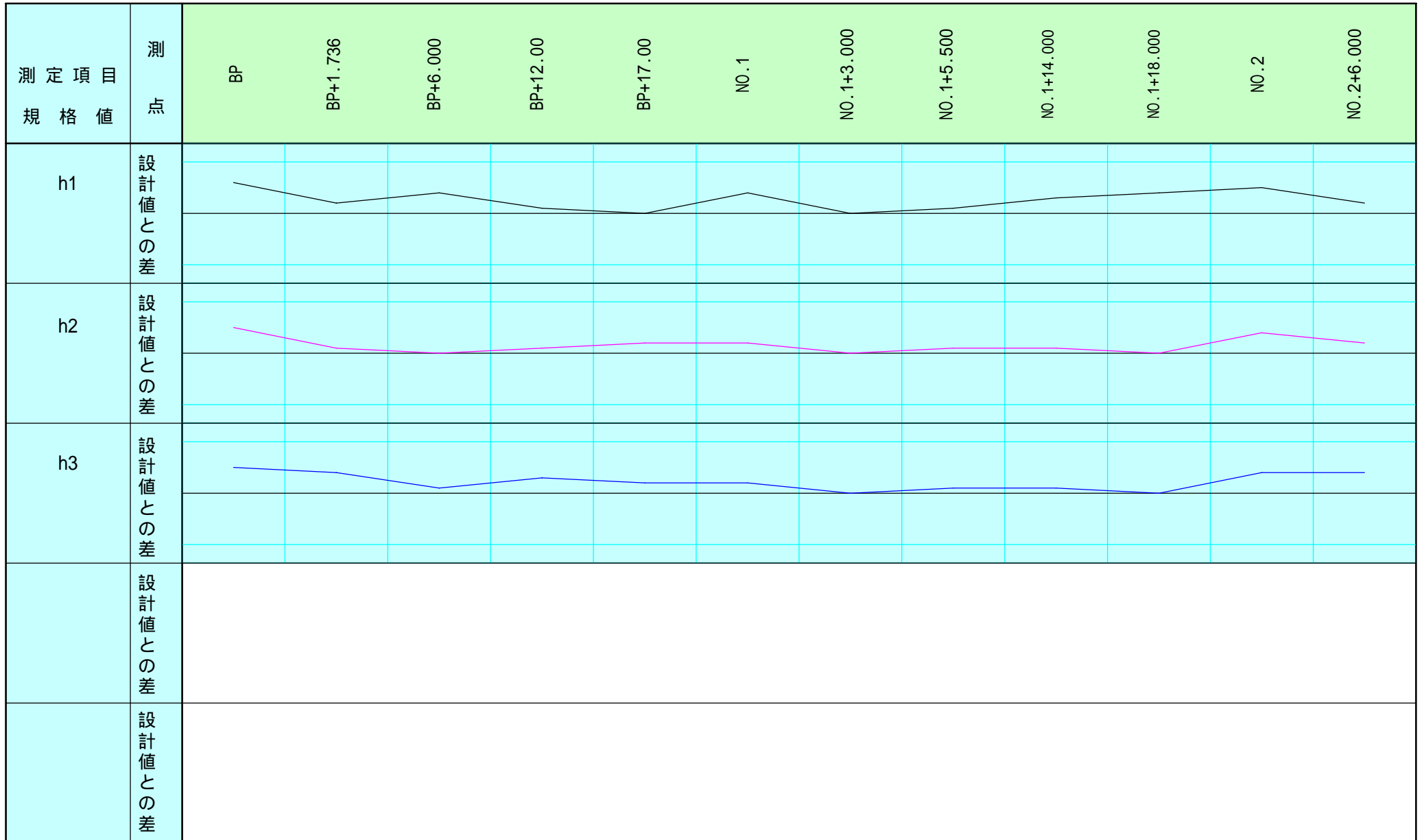
出来形管理図（工程能力図）

工種 上層

種別

測定者 日本太郎

印



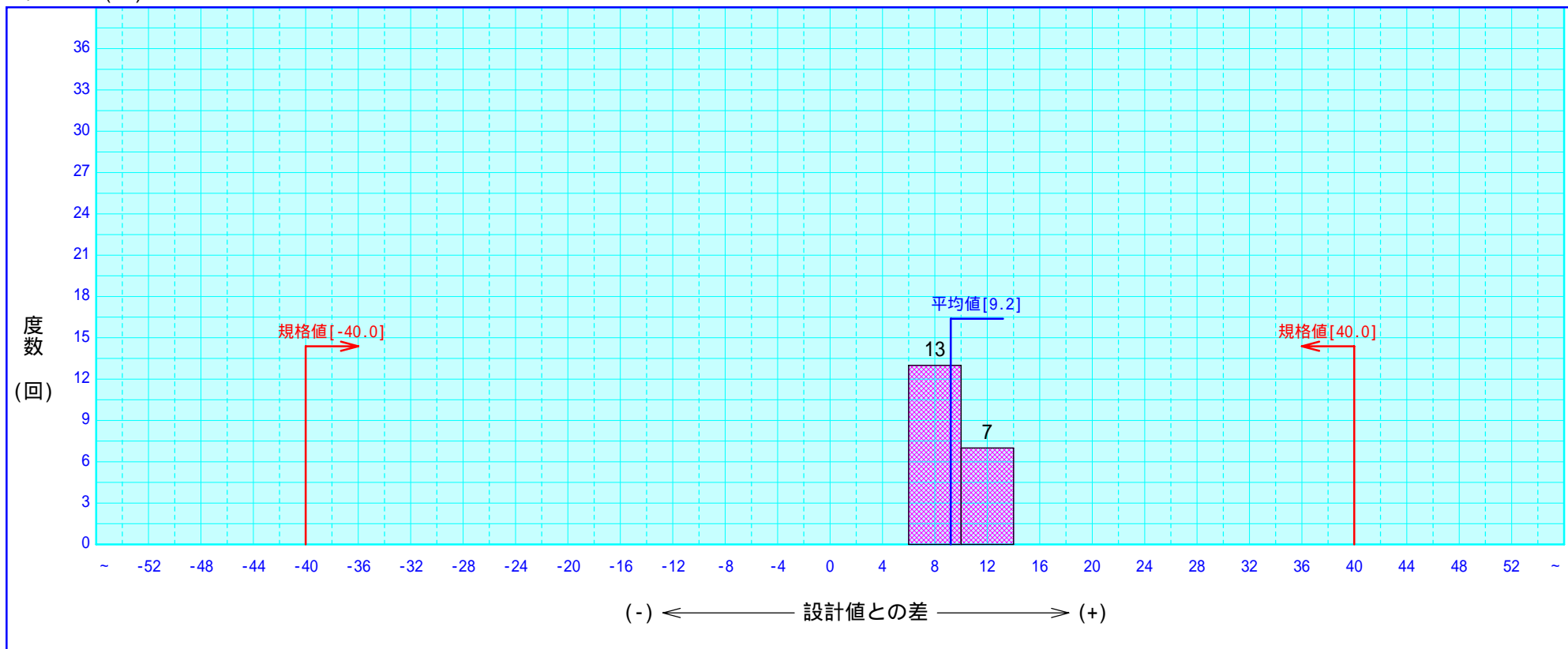
注) 不要な文字は=で消すこと。

路床 度数表

測定者 日本太郎

印

下がり (h2)

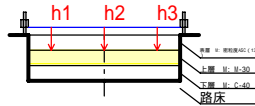


測定結果一覧表

工事名 国道 x号線改良工事
 工種名 上層

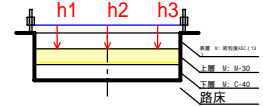
請負会社名 ウェストフィールド(株)
 測定者 日本太郎 印

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h1

項目	管理基準値 A	規格値 B	測単	定位
				mm



h2

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					E = D - C	F = A - E
		BP	150	156	6	
		BP+1.736	150	152	2	
		BP+6.000	150	154	4	
		BP+12.00	150	151	1	
		BP+17.00	150	150	0	
		NO.1	150	154	4	
		NO.1+3.000	150	150	0	
		NO.1+5.500	150	151	1	
		NO.1+14.000	150	153	3	
		NO.1+18.000	150	154	4	
		NO.2	150	155	5	
		NO.2+6.000	150	152	2	
		NO.2+10.000	150	150	0	
		NO.2+15.000	150	150	0	
		NO.3	150	156	6	
		NO.3+5.000	150	155	5	
		NO.3+10.000	150	153	3	
		NO.3+14.000	150	156	6	
		NO.3+18.000	150	152	2	
		NO.4	150	156	6	

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差	実測値との差
					E = D - C	F = A - E
		BP	112	117	5	
		BP+1.736	112	113	1	
		BP+6.000	112	112	0	
		BP+12.00	112	113	1	
		BP+17.00	112	114	2	
		NO.1	112	114	2	
		NO.1+3.000	112	112	0	
		NO.1+5.500	112	113	1	
		NO.1+14.000	112	113	1	
		NO.1+18.000	112	112	0	
		NO.2	112	116	4	
		NO.2+6.000	112	114	2	
		NO.2+10.000	112	115	3	
		NO.2+15.000	112	115	3	
		NO.3	112	115	3	
		NO.3+5.000	112	114	2	
		NO.3+10.000	112	113	1	
		NO.3+14.000	112	115	3	
		NO.3+18.000	112	114	2	
		NO.4	112	117	5	

記入要項

- 「工種名」は、掘削(基準高(V))、フルーム(厚さ(T))、橋台(中心線のズレ(e))等と記入する。
- 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測定番号を記入する。
- 「月日」の欄は測定年月日を記入する。

- 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。
- 部分については発注者が記入する。

上層 出来形管理図表

工事名 国道 ×号線改良工事 請負会社名 ウェストフィールド(株)

工種名 測定者 日本太郎 印

管理基準値 A		規格値 B		測定単位
+	-	+	-	
mm				

番号	月日	測点	設計値 C	実測値 D	設計値との差 E = D - C	管理基準値との差 F = A - E	設計値との差				
							-10	-5	0	5	+10
1		BP h1	150	156	6						
		h2	112	117	5						
		h3	150	155	5						
2		BP+1.736 h1	150	152	2						
		h2	112	113	1						
		h3	150	154	4						
3		BP+6.000 h1	150	154	4						
		h2	112	112	0						
		h3	150	151	1						
4		BP+12.00 h1	150	151	1						
		h2	112	113	1						
		h3	150	153	3						
5		BP+17.00 h1	150	150	0						
		h2	112	114	2						
		h3	150	152	2						
6		NO.1 h1	150	154	4						
		h2	112	114	2						
		h3	150	152	2						
7		NO.1+3.000 h1	150	150	0						
		h2	112	112	0						
		h3	150	150	0						
8		NO.1+5.500 h1	150	151	1						
		h2	112	113	1						
		h3	150	151	1						

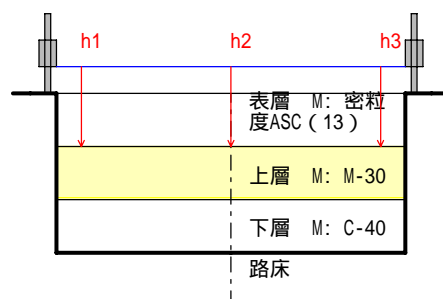
記入事項

1. 「工種名」は、掘削 (基準高 (V))、7-4 (厚さ (T))、橋台工 (中心のズレ (e)) 等と記入する。
2. 「番号」の欄は施工順位を記入し、「測点」の欄は当該測点番号を記入する。
3. 「月日」の欄は測定年月日を記入する。
4. 設計値との差の単位を定め、目盛りに数値を記入する。

h1

h2 h3

測定箇所図



アルバム添付用出来形略図

工事名：国道 x号線改良工事

工種	上層	測点	BP	出来形検測
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		156	117	155
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	112	151
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	153
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		154	114	152
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		150	112	150
<p>表層 M: 密粒度ASC (13) 上層 M: M-30 下層 M: C-40 路床</p>				
		h1	h2	h3
設計値		150	112	150
実測値		151	113	151